

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 12 月 23 日(2022.12.23)

【公開番号】特開 2021-108762(P2021-108762A)  
【公開日】令和 3 年 8 月 2 日(2021.8.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-034  
【出願番号】特願 2020-720(P2020-720)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 15 日(2022.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、

複数種類の中の何れかのセリフに対応するセリフ音の出力とセリフ文字の表示とを行うセリフ演出を実行するセリフ演出実行手段と、を備えた

遊技機において、

前記セリフ演出実行手段は、前記セリフ文字の表示に関する効果音を出力可能であり、第 1 のセリフの場合と第 2 のセリフの場合とで前記効果音を共通とし、

前記セリフ音の出力開始以後であって前記セリフ音の出力が終了するよりも前に前記効果音の出力を終了し、

30

前記図柄の変動表示中に特定予告を実行可能であり、

前記特定予告を実行する場合に、該特定予告に関する音声を出力可能な音声出力手段と、

前記特定予告を実行する場合に、所定部位を振動させることによって振動音を発生可能な振動音発生手段とを有し、

前記音声出力手段による音量を、最大音量と最小音量との間で設定可能な音量設定手段を備え、

前記振動音発生手段は、前記特定予告に関する音声を出力する場合に該音声と並行して前記振動音を発生させ、

前記特定予告に関する音声は、

40

前記最大音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容容易であり、

前記最小音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容困難となるように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

50

本発明は、セリフ音の出力を含む音による演出をより効果的に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、複数種類の中の何れかのセリフに対応するセリフ音の出力とセリフ文字の表示とを行うセリフ演出を実行するセリフ演出実行手段と、を備えた遊技機において、前記セリフ演出実行手段は、前記セリフ文字の表示に関する効果音を出力可能であり、第1のセリフの場合と第2のセリフの場合とで前記効果音を共通とし、前記セリフ音の出力開始以後であって前記セリフ音の出力が終了するよりも前に前記効果音の出力を終了し、前記図柄の変動表示中に特定予告を実行可能であり、前記特定予告を実行する場合に、該特定予告に関する音声を出力可能な音声出力手段と、前記特定予告を実行する場合に、所定部位を振動させることによって振動音を発生可能な振動音発生手段とを有し、前記音声出力手段による音量を、最大音量と最小音量との間で設定可能な音量設定手段を備え、前記振動音発生手段は、前記特定予告に関する音声を出力する場合に該音声と並行して前記振動音を発生させ、前記特定予告に関する音声は、前記最大音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容容易であり、前記最小音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容困難となるように構成されているものである。

10

20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、セリフ音の出力を含む音による演出をより効果的に行うことが可能となる。

30

40

50